

5年生 社会⑤

日本の国土はどこまで？

教科書 P14～15

【用意するもの】

・教科書 ・地図帳 ・社会のノート ・筆記用具

【授業の流れ】

- 教科書や地図帳をよく読んで、課題を進めよう。
- 問題の答えは、すべてえんぴつでノートに書こう。

めあて

ノートに赤えんぴつでめあてを書こう！

どこまでが日本なのだろう。

教科書 P14 を見て、() を埋めよう。(ノートには、文章も写しましょう！)

領土

各国がもつ陸地のことで、() や、() ・() など含まれます。

領海

領土の海岸線から() 海里(約22 km)までの()。
また、領土と領海の上空を() といいます。

はいたてきけいざいすいき 排他的経済水域

領土の海岸線から() 海里(約370 km)までのはん囲から、
領海をのぞいた()。漁業や、海底にある() の開発をその国が自由に行えます。

言葉と意味はしっかり覚えよう！

②教科書 P14 の資料やこれまで学んだことから、日本の国土の特ちょうをノートにまとめよう。

③領土問題について、教科書 P15 の文章を読んで、①～⑩の（ ）にあてはまる言葉を書こう。

択捉島もふくめ、(①)・(②)・(③)の、北海道の北東に連なる島々は、(④)とよばれる、日本の領土です。しかし、1945(昭和20)年、太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦(今のロシア連邦)が不法に占領し、そこに住んでいた日本人は強制的に退去させられ、今にいたっています。日本は、(④)の一日も早い返還をロシア連邦に求め続けています。

また、(⑤)県の(⑥)では、(⑦)が自国の領土であると主張し、不法な占拠を続けています。(⑧)県の(⑨)については、領土問題ではないというのが日本の立場ですが、(⑩)も自国の領土であると主張しています。

日本は、これらの島々が日本の領土であることを相手国や国際社会にしっかり伝え、課題の平和的な解決に向けて、ねばり強く努力を続けていく必要があります。

考えてみよう

下の資料や、自分で調べた資料を使って、なぜ小さな沖ノ鳥島が重要であるかを考えてみよう！

①広さランキング

日本の領土・・・世界61位
排他的経済水域・・・世界6位

②沖ノ鳥島の工事費用

およそ750億円！！

③排他的経済水域

沖ノ鳥島がもつ排他的経済水域・・・約40万km²
日本の領土・・・約38万km²

沖ノ鳥島の写真をぜひ
調べて見てみてね！